

7. 点検評価と課題

2017年度より Hrvoje Petek 教授（ピッツバーグ大学）と中嶋 敦教授（慶應義塾大学）を研究顧問としてお招きし、所全体の研究評価、研究体制についての提言をいただいた。

2020年度は、文部科学省が新たな機関評価の方式を設定したのに基づき、8月に「自己検証報告書」を提出し、それをもとに外部有識者による「外部検証」が実施され、その結果が2021年1月に公表された。

2019年に実施された国際諮問委員会による点検評価結果は、海外からの委員を含めた検証結果として上述の「自己検証報告書」に反映された。これらの経緯を踏まえ、国際諮問委員会からいただいた提言やご指摘に対して、2021年6月に分子研としての回答を提出した。ここでは、自己検証報告書および外部検証結果の概要とともに、国際諮問委員会への回答書を掲載した。

2019年12月の国際諮問委員会から始まった研究所に対する一連の点検評価結果は、2022年4月からの次期計画へ反映すべく、自然科学研究機構における次期研究目標及び計画の策定への反映に取り組んでいる。

(川合真紀)